

触法障害者（児）地域移行研修会

特定非営利活動法人 岐阜羽島ボランティア協会
〒501-6229 岐阜県羽島市正木町坂丸二丁目 97 番地

助成事業の概要

目的：本研修では、罪を犯した障がいのある人たちを社会で受け入れする上で、矯正施設退所後、更生保護施設だけではなく社会福祉施設がともに支援する意識を持つために実施しました。

時期：平成 26 年 5 月 25 日（日）羽島市市民会館

概要：少年院や刑務所などの矯正施設から退院（所）する罪（非行）を犯した人たちは、障がいがあるがゆえに社会生活のルールやマナーの欠如、生育歴等により、再犯に至るケースが多いと言われています。また家族の引き取り拒否や施設出身者など帰住先がないケースもあります。事例報告では、自立援助ホーム Ohana の家ホーム長 味岡和子氏から、開設後 2 年経った現在の状況の報告と課題、また講演会では、社会福祉法人で初めて更生保護施設を開設した長崎県更生保護施設「雲仙・虹」の施設長前田康弘氏から触法障がい者の地域生活への移行への事例報告と仕組みをお話しいただきました。

事業の成果

■自立援助ホーム Ohana の家 ホーム長 味岡和子 氏の事例報告「自立援助ホームの実践と展望」

要旨 自立援助ホーム Ohana の家は、開設 2 年

目となり主に非行系の女子児童とともに社会生活の自立に向けて、日常生活や社会生活でのマナー習得や就労して給料を稼ぐという基本的な援助を行っています。前述の申請事業の目的の中で述べたように、開設後知的障がい手帳を所持する児童の多さに驚きました。また児童相談所の一時保護委託や保護観察所の緊急的・住居確保自立支援対策事業における居住相談においても帰住先のない障がい者（児）がいかに多いかを知りました。本人にとって本来福祉サービスに繋げていくことが重要であるのに、自立援助ホームしかないで相談がきている？ 福祉へどうつないでいくのか？ どんなネットワークが必要なのか？ 帰るところのない子どもを社会が育てる社会的養護の仕組みを創ることの重要性が理解できました。

■更生保護施設「雲仙・虹」施設長前田康弘氏の講演「司法から福祉へ・触法障がい者（児）を福祉に繋ぐ」

要旨 更生保護施設雲仙・虹では、長崎県地域生活定着支援センターと連携し、弁護士・矯正施設・保護観察所・警察署等や社会福祉施設との役割分担を明確にし、触法障がい者の地域移行を先駆的広域的に取り組んでいます。それは、単に当事者が障害施設や高齢施設に帰住することだけではなく、その人の幸せを願い、人権を尊重し、幸せの道を探るそして可能な限りの支援を実践するというものです。

■自立援助ホーム Ohana の家では、2 年間の入

居者のうち手帳所持者は50%、障がいの疑いのあるボーダーのものも含めると実に70%がボーダーでした。「雲仙・虹」のお話からも障がいがあるがゆえに、生きにくさ、社会生活への障壁が大きく、いままで矯正施設等が社会福祉施設化し受け皿になっていた現実が浮き彫りになってきました。来年には、生活困窮者自立支援法が施行されます。また3年後には、刑の一部執行猶予制度が始まり、岐阜刑務所・笠松刑務所を抱える岐阜県は、今後どのような仕組みを創っていくのか？矯正施設、保護観察所、地域生活定着支援センター、相談支援事業所、更生保護施設、社会福祉施設等の地域連携の重要性をあらためて確認できました。

成果の広報、公表

この研修会の広報や公表により、即効で啓蒙できるものではありません。今まで司法と福祉がつながっていなかった、そのため司法の中だけに障がい者がゆだねられていた現状が、今研修会ではっきりしました。地域生活定着支援センターは地域移行のかなめとなりますが、障害福祉サービスの相談支援には、地域移行加算の中に、矯正施設退所者も加わり、相談支援従事者がその役割を担うことにもなります。地域自立支援協議会を中心としたバックアップ体制を創っていくためにも、協議会などで事例発表を通じ啓蒙していきます。

受け入れ施設と同等に社会生活へ移行するためには、就労支援も重要です。商工会議所等を通じて地元企業に理解を求めます。

このレポート内容や講師のレジュメ等を整理し、協会ホームページと広報紙に掲載します。

今後の展開

利用者への影響が大きい、職員がどう接しているかわからない、何か起きるかもしれないなど、社会福祉施設は「罪（非行）を犯したもの」と聞くだけで後ずさりをするのが現実です。矯正施設や保護観察所、生活安全課、保護司と連携し、まず当施設で受け入れを進め、居住支援、日中活動、就労支援と実際行ってみて、接遇と支援、社会生活への地域移行を検証し、課題を整理し今後に繋げていきたい。啓蒙活動により、一つでも多くの社会福祉法人が社会貢献として取り組んでもらえるよう、岐阜県を通じて研修の機会や、自立支援協議会開催時に事例発表していきます。